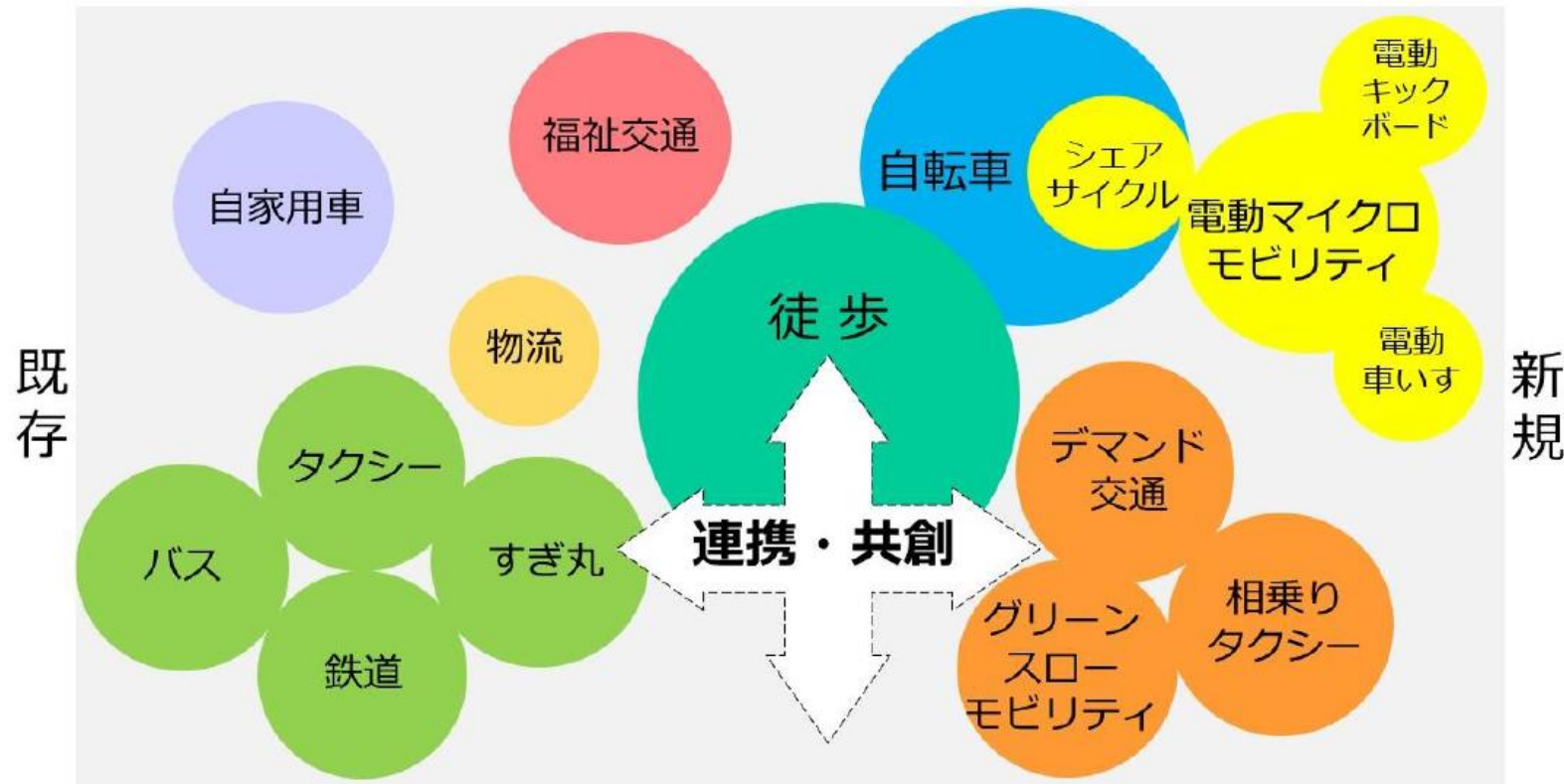


公共交通に求められる役割

「区民一人ひとりの移動を生涯にわたって支え、移動の自由を確保する」

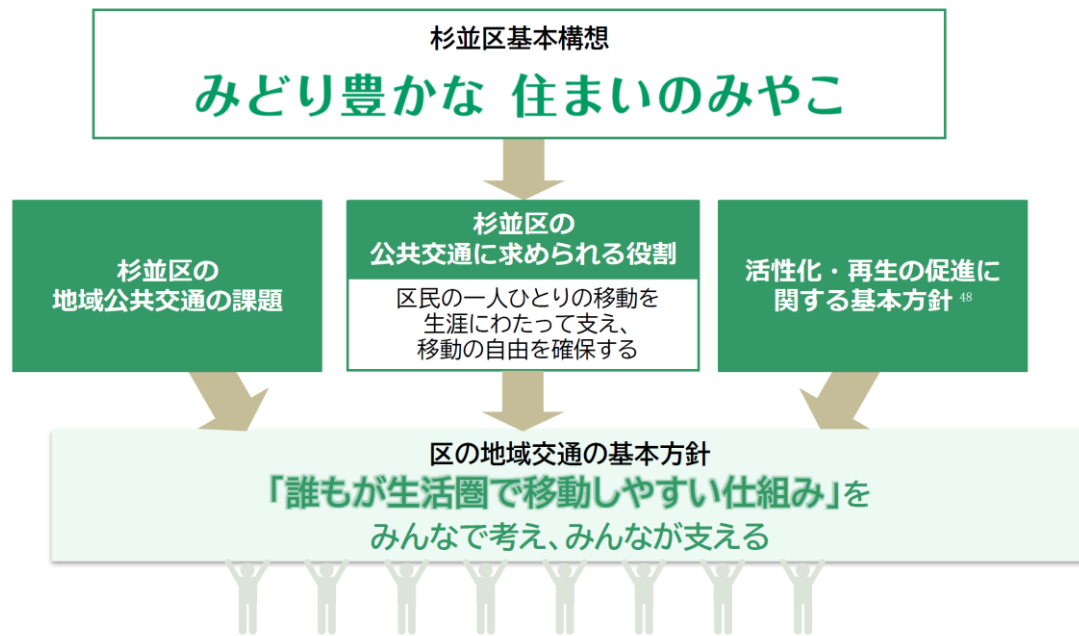
徒歩や自転車を中心に、これまでの基軸を担ってきた既存の公共交通等に加えて、新たに登場したモビリティや交通サービス等が互いに**連携・共創**することが求められる。



杉並区地域公共交通計画における区の実施報告（導入）

区の実地交通の基本方針と目標

「誰もが生活圏で移動しやすい仕組み」を
みんなで考え、みんなが支える



杉並区地域公共交通計画より

目標 1 持続可能な公共交通へと刷新されている
⇒南北バスすぎ丸

目標 2 生活圏での快適な移動が確保されている

目標 3 気軽に自由な外出と回遊が確保されている
⇒区営乗合タクシー、グリーンスローモビリティ

目標 4 安全かつ安価で最適な移動が確保されている
⇒杉並区産MaaSちかくも、自動運転

目標 5 脱炭素化に資するかしこい移動へと
転換されている
⇒南北バスすぎ丸